

飛鳥 ASUKA KAWARABAN
かわら版

2025年
2月

立春号

第216号

発行所 株式会社 飛鳥 出版室
発行人 永野 正将
ADD: 〒780-0945 高知市本宮町65-6
TEL: 088-850-0588
MAIL: info@asuka-net.jp



撮影：株式会社 飛鳥

もくじ

おのころじま奮染記 34 田島征彦 02
日本からの眺め⑥ 氏原名美 03
新聞余話②⑥ 大澤重人 04
「とさぶんたんのぶんこちゃん」
誕生秘話 松田雅子 05

サウナ 06
広告 07
さもないこと⑦ 永野雅子 08

おのころじま 染木記

ふんせんき

34.「憤染記」-2-

田島征彦

てきました。いよいよ先生の画集を出しましょう。」

田中社長から電話がかかり、佐藤編集長と2人で畑の中のが家へやって来てくれました。ぼくも、あれから絵本「じごくのそうべえ」とエッセイ集「くちたんぼのんき」が評判になって、少しは人に知られるようになっていました。

作品集は、型染作品の変遷を辿るように、その作品と制作当時のことを軽快な文章を入れた画文集にしようということになり、佐藤さんと相談しながら掲載作品を決めたり、作家活動30年の軌跡を年譜にまとめ

京都市の西北方角にある、口丹波の八木町に住んでいた頃です。3mもある型染作品を園部川の土手に生い茂っている檜の大木に吊して見ているうちに、こんな自然と作品が一体になった作品集が出来たら素晴らしいと考えました。その内、頭に血が昇って、京都の染織と生活社へ飛んで行ってしまいました。

「それは素晴らしい、良い本にしましょう。」

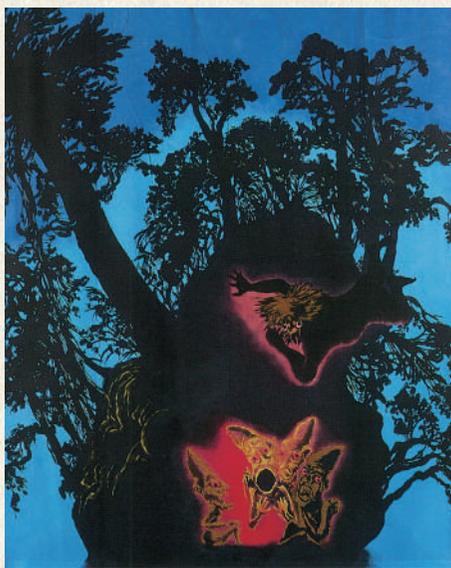
田中直一社長にそう言ってもらってからかれこれ10年経った一九九三年でした。

「わたしたちの会社も力をつけ

なり、美大時代からお世話になってきた先輩の清水忠さんの事務所が引き受けてくれました。

招待客に豪華な名前が並びました。桂米朝、梅原猛、水上勉、木村重信、灰谷健次郎…。

全部、ぼくの出版した絵本やエッセイ集に興味を持ってくれて、



たりして、順調でした。しかし何度も破綻をくり返す人生を書くのは、のんのん記調ののんびりした文章で綴るようにはいきませんでした。それでも、一年以上かかり佐藤さんの力で自伝風作品集は完成しました。

出版記念会を開くということに

深からぬ繋がりのできた人ばかりです。年が明けて1995年、会場が京都国際ホテルで1月30日に決まり、出席者が400人を超えました。田中社長は出版する前から500冊も増刷を決める始末です。

司会は神戸に住んでいる、子

どもの本の作者で灰谷さんの友人の鹿島和夫さんが良いというので電話をしたのが1月17日でした。

神戸で大きな地震があったというので電話がなかなかつながらりません。東京にいる灰谷さんに聞き合やすと、「心配いらん、鹿島はのんき者だからのんびりしてるんやろ。」というので少し様子を見ることにしました。

(つづく)



田島 征彦

たじま・ゆきひこ
染色家・絵本作家

大阪府堺市出身。少年時代を高知県で過ごす。京都市立美術大学染織図案科専攻科修了。一九七八年「じごくのそうべえ」で第一回絵本にっぽん賞。二〇一五年「ふしぎなともだち」で第二十回日本絵本大賞。沖繩の子どもの主人公にした「やんばるの少年」の次には沖繩戦を題材に、子どもたちに、戦争のことを、平和の大切さを伝える絵本「なきむしせいとく」が二〇一三年度の講談社絵本賞を受賞した他、国際的な評価を受けました。

※「おのころじま」は淡路島の古代のよび名

帰属意識と国籍

氏原 名美

大学院のオンライン授業でプラト・オクジャワの詩をテーマにした時のこと、修士課程に学ぶ二十代の学生たちは、詩人で小説家であり二十世紀ソビエトを代表するシンガーソングライターのことを知らなかった。独立して三十数年ともなれば、キルギスの若者たちにとって身近なのはオスモノフやアイトマートフといったキルギスの詩人や小説家で、オクジャワだけでなくヴォズネセンスキーもエフトウシエンコも、ヴィソツキーさえも実感できない存在なのだ。親世代が選択したロシア国籍との訣別も進み、ソビエトの置き土産が一つ一つ解消されていく。

ソビエト崩壊後、新たに国籍を登録するにあたって全員がキルギス国籍を選んだわけではない。文化的もしくは民族的アイデンティティーを優先した人も

いれば、モスクワへの政治的な帰属意識や上昇志向に基づいてロシア国籍を選んだ人もいる。スタリーンによって先祖代々暮らしていた地から祖父母が中央アジアに強制移住させられたクリミヤ・タタール系やヴォルガ・ドイツ系、朝鮮系の人々は、父祖の地への帰還を希望するか、そうでなければディアスポラとなった同胞が多く住むカザフスタンやロシアの国籍を選んだという。いずれにせよ、民族籍（登録民族）と国籍の境が曖昧だった独立直後は、国籍の違いで将来何らかの不利益が生じるなどと考えた人は少なく、実際、地域共同体の中では選挙権の有無に違いがあるだけで皆キルギス市民としての暮らしに不都合はなかったようだ。

しかし、キルギス以外の国籍だった学生で日本留学を目指す者などは、いぶん前からキルギス国籍への変更手続きを行ってきた。文科省国費留学プログラムに応募するためには、国籍国所在の在外公館で第一次試験を受ける必要があるし、査証を新規取得するのも国籍国所在の在外公館だから、いくらキルギスに曾祖父の代から住み続けて

いても、キルギス国籍でなければキルギスで受験することができないからだ。

日本語学習者に限らず、独立後に誕生した世代では、親世代とは別に自分だけがキルギス国籍を取得するのは躊躇ためらわれるという者もいるが、徐々にキルギス国籍への切り替えが進んでいる。国家への帰属意識が高まったことも要因に挙げられるだろう。日本語学習者も国籍で線引きされるようになってきた。キルギスでもう三十年近く続けて開催されてきた国内日本語弁論大会は、日本語を母語とせずキルギス国内の教育機関で学んでいけば国籍に関係なく誰でも出場資格があった。留学生が出場したこともある。それが、昨年からスポンサーの意向で「キルギス国籍を有する」という条件が加えられた。今後はキルギス国籍への変更は拍車がかかりそうだ。

ロシアのウクライナ侵攻を機に、欧米では、音楽、芸術、文化、スポーツのほぼ全領域でロシアをボイコットする動きが続いた。日本では欧米ほど表立ったロシア排斥運動は見られず、高等教育機関はじめ国際交流基

金や文科省の研修あるいは留学プログラムでもロシア国籍者が排除されることはなかった。経済制裁一辺倒ではなく、将来の外交関係修復を見越して、親日家を育成するためにも教育・文化面での交流を続けるのはいいことだ、と思っていたところ、日本政府は昨年度、国費による研究留学プログラムの一つからロシアとベラルーシの国籍保持者を対象から外してしまった。ロシア政府はこの一月、ロシア六都市に日本政府が設立し両国の架け橋としての役割を担ってきた「日本センター」の実質的な活動停止を命じた。

こうした制裁の応酬にキルギスでもしばらくはロシア国籍の若い世代が翻弄されるだろう。「自分で選んだ国籍じゃないのに」という声が聞こえてきそうだ。

氏原 名美

うじはら・なみ

ビシケク国立大学東洋国際関係学部特任教授。越知町出身。北海道大学卒。

「オールド」を弁護します



「大谷、脱臼の真相は『…』 ネット仰天」

スマホでこんな記事を見たことがありませんか。

ネットやテレビ

などでの有名人の発言を引用し、ネット上の反応とともに記事化したものです。いわゆるこたつ記事。取材なしでお手軽に記事が仕上がるので、批判交じりにそう呼ばれます。広告収益に直結する閲覧数を稼ぐことに各社がしのぎを削っています。足で稼いだ記事よりも、そんなぬるい記事の方がアクセス数が良いこともあるようです。

「オールドメディア」

長らく情報の信頼ブランドだった新聞がそうやゆされていきます。まさかの結果を生んだ兵庫県知事選では、SNSの発信力がその一因とされます。「オールドメディア」が書くのは既得権益の上塗り、SNSこそが真実を発信

していると少なからぬ人が受け取ったようです。部数の激減で、各新聞社とも要員を絞られ、取材費を削られ、新聞社の基礎体力が落ちた気がしてなりません。

それでも――。

「桂浜で西洋系の外国人が夜な夜大声で騒いでいる」

X(旧ツイッター)でこんな書き込みがあったとします(空想の産物です)。瞬時に拡散します。「最近、桂浜にごみが多いのはそのせいか」「中東は怖い」「外国人は出ていけ」「警察は早く取り締まれ」……。それぞれが勝手な感想を書き込みます。桂浜でイスラム教徒が酒を飲みながら、ごみをまき散らし、見かねた警察が逮捕した――。いつの間にか、こんな情報に置き換わっています。

新人記者のあなたもこの情報に接しました。県内有数の観光地だけにニュース価値がありそうですね。地元署と高知市の担当課に電話で確かめると、「聞いたことがない」。自分の目で確かめようと、夜間に現地まで車を走らせました。空振り。別の日も空振り。水族館にも聞いてみませんが、外れ。坂本龍馬記念館にダメ元で問い合わせ

たところ、「外国人といえば、龍馬を尊敬するグループが結成され、よく見学に来る」。これかもしれない。

今度は龍馬像の前で張り番をしていたら、十数人の外国人が夜間にやってきました。三列になってひざまずき、「天下ノ政權ヲ朝廷ニ奉還セシメ」などと難しい日本語を唱え始めます。龍馬の船中八策です。聞けば、龍馬の行動力を尊敬する、県内在住の外国人グループでした。その名も「リョーマハ イチニチニシテナラズ」。龍馬のどこに外国人が惹かれるのか夢中になって取材します。一行は、声が大きかったことは今後反省すると言いつつ、桂浜に下りて、いつものようにごみ拾いを始めます。シャッターを盛んに押しました。

県内在住の外国人数の推移も盛り込み、記事を仕上げ出稿しました。デスクから注文がありました。「高知大の先生や現代龍馬学会の見解を聞いてみて」

記者の原稿は、紙面の指揮者であるデスクの手が必ず入ります。自身の経験や知識から事実関係の真偽を値踏みしたうえで、削った、表現を直したり。新人記者の場合、換骨奪胎され原文が跡形も

ないことさえあります。ただ、自分が取材したわけではないので、事実関係を逸脱した修正になっていないか、取材記者に送り返して確認させます。

県版はこれで紙面化されますが、より読者の多い全国版の場合は、さらに本社のデスク、編集者、校閲、編集幹部のチェックが入ります。

なんら裏取りやチェックのないSNSの発信か、それとも手間と時間をかけた新聞記事か、どちらを信じますか。



新聞？ SNS？
どちらの情報を信じますか



大澤 重人

おおざわ・しげと

渡来人歴史館(天津市) 専門員、元毎日新聞高知支局長

戦後80年の今夏、38度線を越えて朝鮮北部の「死滅の村」から引き揚げてきた人を取り出した本が出る予定。

「とさぶんたんの ぶんこちゃん」 誕生秘話

松田 雅子

ある果樹園で、土佐文旦の収穫のお手伝いをさせていただいた時のことです。丸々と立派に育った土佐文旦がひとつ私の手からこぼれ落ち、文旦山の急斜面をコロコロと転がり落ちてしまいました。

「あの文旦、一体どうなってしまうたがやろう」。なんだかとても申し訳なくて、ずっと頭の片隅にありました。「転がってしまつた後」のことを書いてみようと思つたのは、コロナ禍で自分がとてもしんどかつた時でした。

あれから3年、「やれる時に、やれることをしちよきよ」ある人に背中を押してもらつて、この度、思い切つてなんとか形にすることができました。

この3年の間に、いろんなことがありました。

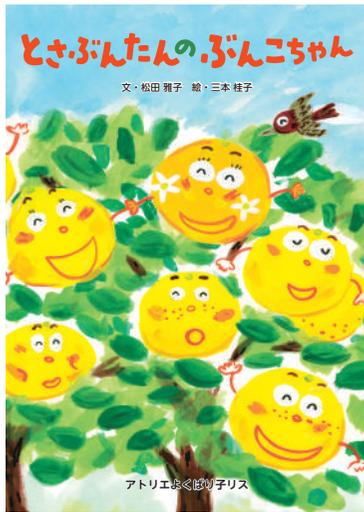
実家の母が認知症を患つたり、舅を送り、姑を送り……。こんな大変なことを乗り越えてこられた人生の先輩達について思うこ

ともたくさんありましたし、姑と一緒に過ごした8カ月の在宅介護の体験から、学ばせてもらったこともありました。姑が入院してから面会の時に「1日の中で好きな時間」を尋ねたことがあります。姑は「旅行に行つたこととか、家族で過ごした楽しかったことを思い出しながら眠りにつく時間が好き」と話してくれました。実家の父はパラパントをしていましたので、満てる前、よく空を飛んでいるパラパントの動画の音を聞かせてあげていました。

「人は満てる前は1人になるから、動ける時にできるだけ楽しい思い出を作つて、いっぱい思い出せるようにしちよきなさいよ」そう、教えられた気がしたものです。

この3年の間感じた自分ならではの「気付き」を、2行の言葉に託し、加えさせていただきます。

タイアップしてくださったのは、学研や講談社の絵本など、全国的にご活躍中のイラス



「とさぶんたんのぶんこちゃん」
著者：文・松田 雅子 絵・三本 桂子
B5判 28頁 定価：1,980円(税込)

2025年 文旦ムキムキ活動予定

- 2月8日(土) AM10:00～PM3:00
第2回土佐市産業祭(土佐市複合文化施設つな一で)
- 2月9日(日) AM11:00～PM4:00
土佐文旦カーニバル(とさのさと)
- 2月16日(日) AM11:00～PM4:00
絵本「とさぶんたんのぶんこちゃん」
販売イベント(帯屋町金高堂本店)
- 3月2日(日) AM10:00～PM5:00
第15回 土佐・ぶんたん祭(中央公園北入り口)
- 4月4日(金) AM11:00～PM4:00
文旦感謝祭(はりまや橋商店街・金曜はりまや市)

トレーターで絵本作家の三本桂子さん(高知市在住)。2017年に出版させていただいた書籍「文旦好きがこうじて」の中にも、かわいいイラストを描いてくださっています。また、ドキュメンタリー映画「文旦好きがこうじて」では、受粉・摘果・収穫・出荷などの様子を分かりやすくイラスト化していただきました。(その後の「文旦ムキムキ教室」などでも、ポストカード化したものを教科書的に使用させていただきました(ありがとうございます))

「ゆうちょマチオモイカレンダー」の2月のページではこの作品の中の「収穫」が採用され、カレンダーという形で全国に土佐文旦を広めてくださいました。また、どんなにしんどくても、

いつかきつと「希望の芽」が出ること信じて。

絵を担当してくださった三本桂子さんが、芽が出る場面に大きな虹を掛けてくださいました。温暖化やカメムシ被害、しかも今年は裏年で大変な柑橘農家さんにも、どうか「希望の芽」を感じていただけますように。

土佐文旦アンバサダーの立場からは、ちょうど、今春よりNHK朝の連続テレビ小説「あんぱん」の放送も始まり、たくさん子ども達が全国から土佐を訪れる絶好の機会です。土佐文旦と一緒に全国の子ども達に！未来の文旦ファンを育てるための種まきになれば：と思います。

サウナ

飛鳥 印刷部 氏原



「サウナ」が2500万人から2900万人という、驚くべき数字がありビックリしました。

サウナの起源は2000年以上前の「フィンランド・カトリア地方」食料を貯蔵したり、スモークする為の部屋が、いつの間にか沐浴する場所へと変わっていききました。そして、白夜の夏と厳しい冬の風土の中で人々の健康に欠かせないサウナへと進化しました。

一昔前は、おじさんが利用するイメージがあったんですが、現在の利用者の年齢比率は20代が32%、30代が40%、40代が16%、50代が11%と現在のサウナブームをけん引するのは20代〜30

代のユーザーです。

男女比率では男性52%、女性47%という、男女比率が1対1に近づいて、男性にも女性にも人気があります。

毎週休みの日に利用しているのですが、いつもたくさんの方がいて、サウナに入るのにも一苦労です。

そのサウナの魅力は「心身ともにととのう」リラククス効果、リフレッシュし、血流が良くなり、老廃物を排出し胃腸の働きも活発になり、食欲が上がり、食事がおいしくて食べ過ぎてしまえますが、そこはサウナで出した汗などでチャラにしてくれます。(笑)

主に、サウナの種類は8種類あり、①赤外線サウナ、②ミストサウナ、③スチームサウナ、④塩サウナ、⑤フィンランドサウナ、⑥スモークサウナ、⑦テントサウナ、⑧アイスサウナがあって、自分が入った事のあるサウナは①〜④がありますが、⑤〜⑧は無いので機会があれば是非入ってみてください。

お勧めは何といっても③の「ス

チームサウナ」。

全身を潤しながら短時間で体の芯から温まり、美肌効果も期待できます。

自分流のサウナ利用方法を記します。

- 1, まずはサウナに入る前に水を飲む
- 2, 身体と頭を洗い流す
- 3, サウナハットを被りいざサウナへ、ここでは黙サウナ10分〜15分
- 4, 出たら、かけ湯をして水風呂に入り1分〜2分入り我慢
- 5, 水風呂から出たら、最後の締めを外気浴

これを3セット〜4セットしたら、もうサウナの膚。まさに「ととのう」※です。そして明日からの仕事や日々の生活への活力にながっています。

注意点は発汗により血管内は脱水に陥り、血液がドロドロと固まりやすくなっているので、その為に血栓が出来て血管が詰まり、脳梗塞や心筋梗塞を発症す

る恐れがあるのでくれぐれも注意して下さい。人それぞれ人にあつた入り方や楽しみ方があるので、安全にマナーよくサウナを楽しみましょう。

最後になりますが、おススメのサウナがあれば是非教えて頂けたら嬉しいです。

※「ととのう」はサウナ用語で、サウナ↓水風呂↓休憩を3回ほどくりかえすことで訪れる快感、トランス状態のことを指します。



従来はオフセット印刷が主流だった白版印刷。一定の部数以上でなければ利用出来ないものでした。

クリアも白も、手軽にPODで!

Print on Demand

名刺・DM・フライヤー・パンフレット・POP・カード・封筒など…個人や仕事にかかわらず
クリアやホワイトをデザインに取り入れて Original / Premium / Stylish / Variation
「より魅力的なアイテム」制作、試してみませんか?



クリア印刷



ホワイト印刷

ニスやラミネートのような光沢感のクリアトナー。デザインの上での光沢コーティングや、コピーできないという特徴から偽造抑止に活用など、使用方法はアイデアの数だけ広がります!

黒や濃色のメディアに白でデザインや文字を印刷することで特別感のある印刷物に!また、特殊メディアとの相性バツグン!アルミ蒸着紙などのメタリック調を活かしつつデザインすることも可能です。

必要な時に必要な数だけ
という「おトク」

必要なアイテムを必要な数だけ。
足りなくなればリピートもカンタン。
【小ロット/低コスト/短納期】を
可能にするPOD活用のご提案です。



RICOH Pro C7200SHT

多彩な用紙で、多彩な表現を。

普通紙やコート紙のほか、凹凸紙などに対応。立体POP、リーフレット、メニューなど、多彩な活用はアイデア次第!※紙によって印刷相性があります。事前にご相談ください。

幅広い用紙サイズ

100×139mm~330.2×487.7mmまで対応。さらに長尺印刷(片面時)は、最大1,260mmまで対応し、A4三つ折りのパンフレットや店頭バナー等も制作可能です。

中綴じ製本

小ロット(1冊~)からOK!表紙と本文の紙替なども対応可能です。
※最大20枚(80p)程度まで(用紙種類、紙厚などのご使用条件によって異なる場合があります)

封筒への印刷OK!

フルカラー印刷のオリジナル封筒など、小ロットから印刷できます。
※ゼロハン窓等の熱で溶ける仕様のものはプリント不可です。

小ロット
OK!

短納期
OK!

お問い合わせ・お見積もり・ご注文は……………株式会社 飛鳥まで

お気軽にご相談ください

七、もない、こと ⑦

口角5ミリアップ

永野雅子

今年の年賀状には「口角5ミリアップを心がけます」と書いた。

普段からどちらかと言えばマイナス思考の私は、意識していないとアップどころかダウンになることが多い。

車を運転中、車間距離を少し空けると強引に割り込んで来る車、対面二車線の道路を制限速度以下で悠々と後続車を従えて走っている車、その度に「割り込んだら、ありがたいのサインくらいしたらどうですか！」

「もうっ！バックミラーを見たらどう？」一人でブツブツ怒っている私。

家では、ちっとも片付かな

い部屋を息子のせいにしては売り言葉に買い言葉、お互い遠慮がないから、だんだんエスカレートする。その後で、「どうして私は親として寛容になれんろう」と落ち込む。この繰り返し。

何もない穏やかな日でもふと、「トランプ大統領になったら、世界はどうなるろう」などと、マイナス面に心が向かう。

この世は「親和の法則」と言って、似たものが集まってくる法則があるそうで、昔から「笑う門には福来る」「泣きつ面に蜂」など、自分が発する雰囲気通りの世界が作られるそうだ。「良いことがあったら笑うのではない、笑うから

良いことが来るのだ」と聞いて、なるほど。

ならば、幸福で健康で豊かな暮らしを望むなら自分の雰囲気を変えねばならぬ。そこで「口角5ミリアップ」となる。

人の頬のあたりには「笑筋」と言って笑う時に使う筋肉があつて、動物の中では人間だけにあがるそうだ。笑わなくても口角を上げるだけで体内が活性化するというテレビ番組を見て、嬉しくなった。

たしかに、明るい前向きの人との会話は楽しいし、元気をもらおう。

八十路を過ぎて人生の仕上げの時を迎えた今、笑筋を大いに使つて過ごしたいと思う。

昔、金さん、銀さんという100歳を迎えたおばあちゃんが大人気になって、「出演料をどう使いますか？」と聞かれて、「老後のために貯金をします」という返事に大笑いをしたが、そんなウィットに飛んだ会話が出来るように普段から

頭を柔らかくしなければ…。
割り込んで来る車には「どうぞ！」

急いでいるのに追い越せない時は、「慌てない、慌てない。安全運転で」と、自分に言い聞かせよう。

片付かない部屋は「ま、これでいいか！」



永野 雅子

ながの・まさこ

株式会社 飛鳥
常務取締役

著書「わが家の太郎」

「飛鳥かわら版」は、あらゆる世代の自分史・個人誌作りを応援しています。

飛鳥かわら版 第216号【立春号】 飛鳥出版室

●発行所：株式会社 飛鳥 ●発行人 永野 正将
●住所：〒780-0945 高知市本宮町65-6 ●電話：088-850-0588
●メール：info@asuka-net.jp ●ホームページ：https://www.asuka-net.jp